匠ブランドPartnerシリーズ『PRESIDENTα』製品取扱説明書（日本語簡易版）

(USB 接続時)

表記の注意：
『短押し』と表記されている場合は軽く 1 回押す事を示し、『長押し』と表記されている場合は 2～5 秒間連続して押して下さい。

右上ボタン　》》操作ボタン
右中ネジ　　》》時間調整ネジ
右下ボタン　》》モードボタン
左中ネジ　　》》USB 接続部キャップ
左下ネジ　　》》マイクキャップ（防水時は防水キャップを使用してください。）

電源操作

1、操作ボタンを長押しすると、電源がＯＮになります。パイロットランプが緑ランプ点灯後、赤ランプ点灯になると録画待機状態になります。
2、電源ＯＮの状態で電源ボタンを長押しするとランプが消灯し、電源がＯＦＦになります。

動画撮影機能

1、録画待機状態で操作ボタンを短押しすると、録画が開始されます。
赤ランプが点滅に変わり 20 秒後消灯します。ステータスを確認する場合はいずれかのボタンを押してください。
2、録画中（消灯中）に 2 回操作ボタンを押すと録画を停止し、データは保存され、録画待機状態になります。
※　データは 30 分ごとに保存され、録画をし続けます。
※　撮影は被写体から 50cm 以上離してください。
※　録音効果を確実にするために穴あきキャップを塞がないでください。

ボイスレコーダ機能

1、モードボタンでボイスレコーダ機能モードにしてください。（青ランプ点灯）
青ランプ点灯はボイスレコーダ機能待機状態です。
2、操作ボタンを押すと録音を開始します。
青ランプが点滅に変わり 20 秒後消灯します。ステータスを確認する場合はいずれかのボタンを押してください。
3、録音中（消灯中）に 2 回操作ボタンを押すと録音を停止し、データは保存され、録音待機状態になります。
※　データは 30 分ごとに保存され、録音をし続けます。
※　録音効果を確実にするために穴あきキャップを塞がないでください。

静止画撮影機能

1、モードボタンで静止画撮影機能モードにしてください。（緑ランプ点灯）
緑ランプ点灯はボイスレコーダ機能待機状態です。
2、操作ボタンを 1 回押すと 1 枚撮影します。
1 枚撮影するたびに緑ランプが点滅しファイルを保存します。
※　撮影は被写体から 50cm 以上離してください。

ＷＥＢカメラ機能

1、CD-ROM の中の PcCameraDriver.exe.をインストールしてください。
2、本体の電源を OFF にします。
操作ボタンを押したままUSBケーブルを接続、PCのUSBポートに差し込みます。
緑ランプ点灯後赤ランプ点灯します。
※　WEB カメラモードにならずにリムーバブルディスクモードになってしまう場合は接続をし直して下さい。

ＵＳＢメモリー機能

１、本体の電源を OFF にします。
２、USB ケーブルを接続、PC の USB ポートに差し込みます。
３、取り外すときは、PC 右下隅の USB マークをクリックし「‘USB 大容量記憶装置’はコンピュータから安全に取り外すことができます。」と出てから外してください。
※　本製品は、動画・静止画・ボイスレコーダ・WEB カメラなど、各モードをコントロールする為に内部アプリケーション（OS のようなもの）で管理しています。電源投入時にそのアプリケーションが起動し、起動後にモード（初期 USB）の判別しており、およそ１０秒から１５秒ほどメモリーの認識に時間が必要となります。また認識が不安定な場合は、一度リセット処理を実行してください。(操作ボタン＋モードボタンで電源もオフの状態となります)

表示日時の設定

1、 日付設定は本体と PC を接続し行います。
2010 年 1 月 1 日 10 時 30 分 20 秒に設定の場合
下記のようなテキストファイル(メモ帳)を PC で作成します。(すべて半角)
2010.01.01 10.30.20
カメラ本体を PC に接続して USB ディスクの最上位ルートに time.txt を貼りつけ保存します
カメラ本体をパソコンから取り外し、リセット(電源 off で再度電源を on)して設定完了です。

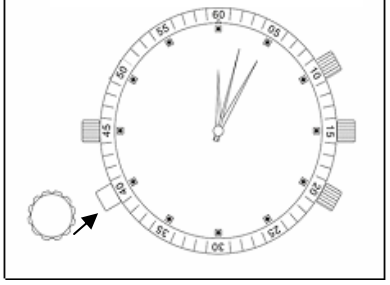
充電

１、主電源を OFF にして本体と AC アダプタまたはＰＣとの USB ケーブルの接続にて行います。
AC アダプタでの充電：AC アダプタは赤ランプと緑ランプが両方点灯し、時計本体のパイロットランプは赤ランプが点滅します。充電が完了すると製品本体のパイロットランプが赤ランプ点灯になります。
注意）本製品に付属されている AC アダプタ・USB ケーブル以外は使用しないでください。
高温または異常を感じた場合はアダプタを抜いてください。

防水機能

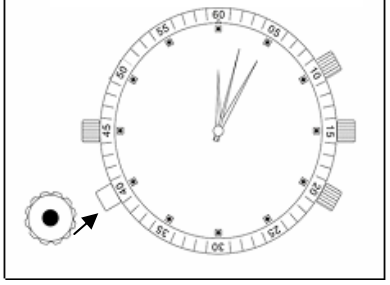
以下のご使用方法を実施することにより、防水 3 気圧（生活防水程度）としてご使用になれます。

■防水機能を使用する際



付属のキャップ穴なしに付け替えます。

■一般録画時（非防水）



マイクキャップ穴ありを使用します

【防水機能のご使用上の注意】

時計本体の防水性能をよく把握され、適切な環境でのご使用方法を確認してください。なお、お客様のご使用方法によっての浸水と判断される場合、初期不良・保証対象外となりますのでご注意ください。

【避けて頂くご使用方法】

A. 時計本体に過度な水圧がかかるご使用方法はできません。

例:時計をしたままプールやシャワー等に入る行為(水へ飛び込みをしたり、クロールで泳ぐと製品は破損します)

※クロールなどで泳ぐ場合、浸水 1m もない場所ですが、約10気圧以上の圧力がかかります。

B. 高温・多湿・結露が発生する場所(お風呂等)でのご使用
防水時計内部のパッキンがお湯や石鹸成分の付着により変形や劣化を招き、防水機能が失われてしまいます。シャワーを浴びるだけでも3～5気圧(30～50m)程度になります。温度差の激しい場所や水蒸気が発生している場所で使用すると結露が発生することがあります。放っておくと錆びたりオイルの劣化を招き、故障の原因となります。

C. 濡れた手でのリューズのつけ直し、ボタンを押したりする行為。
水滴によりパネル内部の曇りや故障の原因となります。

◎ また防水機能ご使用後は、乾いた布等で時計本体の水分を十分に拭き取っておく必要があります。